

(公社) いわき青年会議所 室長 意見書

出向特別室 室長 馬上 順胤

1 いわき J C は創立以来、市民や各関係機関・団体と協働することで、いわきの様々な問
2 題に取り組み改善に向けた運動を展開してきました。また、例年日本 J C や地区協議会、
3 福島ブロック協議会にも多くのメンバーを輩出し、視野を広げる取り組みを行ってしまし
4 ました。そして本年、12年ぶりに福島ブロック会長輩出するこの機会を活かし、出向によっ
5 て得られる全てを L O M に伝播し、地域益を高める運動を行っていかねばなりません。

6 まずは、福島ブロック協議会会長職の重責を全うできる組織を構築するために、会長を
7 輩出する重要性を随時 L O M へ発信し、L O M の理解と協力が得られる環境を創出します。
8 そして、福島ブロック協議会の運営を円滑に行うために、日本 J C の在り方と運動の方向
9 性を把握し、L O M との情報共有と連携を強化することで、出向メンバーと L O M メンバ
10 ーが同じ温度で共に活動できる体制を構築します。さらに、L O M の運動や事業構築を広
11 い視点で行うために、出向で学べる機会や事業を L O M と共有し、得られた知識や情報を
12 細やかに伝播するとともに、その効果も明確にすることでメンバーの参加意欲を高め、L
13 O M 事業の参加増進と J C の魅力発信に努めます。また、各種大会や式典に対し、会長輩
14 出 L O M として学ぶ姿勢と感謝の気持ちを携えた多くのメンバーの参加促進を行うために、
15 年当初から L O M の立ち位置を明確に発信し、メンバーにとってのメリットを各委員会へ
16 周知理解を得たうえでの協力体制を構築します。そして、出向者が疲弊なく成長するた
17 めに、疲労発散や高揚感が得られる環境を創出し次年度以降の出向者輩出に寄与します。

18 いわき J C が一丸とならなければ遂行できない数年に一度のこの機会を、メンバー個人
19 と L O M の大きな財産とし、豊富な知識と経験により生み出される想像力と発想力で様々
20 ないわきの問題に対し、適した運動展開ができる地域に必要な組織へと進化します。

21 <職務分掌>

- 22 1. 日本 J C、各協議会との連絡調整
- 23 2. 日本 J C、各協議会出向者へのサポート
- 24 3. 横断的な各グループへのサポート
- 25 4. 各種大会への参加促進
- 26